

謹啓 PSBのご家族とスタッフの皆さま

ブルックライン公立学校 PSB の基本的な価値観の一つは、人間の違いを尊重することです。私たちは、コミュニティを構成する多様性を認めることを約束し、学校を誰もが安心して歓迎される場所にするために日々努力しています。アジア人やアジア系アメリカ人のコミュニティに対する暴力、人種差別、外国人排斥が米国内で頻発している中、より多くの生徒をフルタイムの対面学習に戻す準備をしている私たちは、こうした約束を皆さんに思い出していただきたいと思います。

アジア人に対する暴力が全米で増加していますが、これは過ちであり、容認できるものではなく、物理的にも仮想的にも学校には存在することは。その中でも最も衝撃的だったのは、昨夜アトランタ地域で発生した銃乱射事件です。私たちは、この憎しみがさまざまな形で現れるということを知っています。私たちは、PSBのすべてのスタッフ、教師、そしてコミュニティのメンバーに、反アジア人種差別に立ち向かうためのご協力をお願いします。アジア系アメリカ人の生徒やその家族、同僚に声をかけ、人種差別的な言動を認めないことを共に確認しましょう（バーチャルに、そして最終的には直接的に）。最も重要なのは、誰かが傷つくような言動があったときに立ち上がることです。このことは、生徒たちが対面式の授業や交流が戻ったときに、特に重要になるでしょう。

また、これらの事件が起こったときに公に非難するだけでは不十分であることも認識しています。私たちは、学校組織として、これらの事件の本質について地域社会を啓蒙する特別の機会を持っています。私たちがPSBで行うことは簡単ではありません。困難で不快な話し合いをすることになるでしょう。しかし、これらの無意味な行為を理解するために、耳を傾け、家族と話し合うことをお勧めします。このような会話を通して、私たちはこのような憎しみに満ちた攻撃を常態化させず、コミュニティとして癒すことができるのです。

私たちのスタッフは、人種差別や外国人排斥を認識し、それに対応するためのリソースや資料を受け取っており、今後も受け取っていく予定です。このような授業は教室の外にも広がっているため、すべての生徒、保護者、その他のコミュニティのメンバーにも、この継続的な対話に参加していただきたいと思います。アジア人に対する人種差別について、大人や子どもにどのように話したらよいかをまとめた資料を、以下に掲載しました。

PSB、ブルックラインアジア系アメリカ人ファミリーネットワーク、ブルックライン教職員組合は、私たちのコミュニティに住む一人一人の尊厳と人間性を信じています。私たちは、すべての人が自分らしくあり、学校やより大きなコミュニティにもたらすものを受け入れます。

謹白
Jim Marini
暫定教育長

Jessica Wender-Shubow
ブルックライン教職員組合

Chi Chi Wu
ブルックラインアジア系
アメリカ人ファミリーネット
ワーク運営組合メンバー

[反アジアの暴力と偏見への対応](#)

パンデミックの中で、アジア系アメリカ人は人種差別、暴力、ハラスメントを経験し続けています。これらのリソースは、今この瞬間の歴史的な前例を教え、生徒がコロナウイルスによる人種差別を認識し、それに対して声を上げる方法を紹介し、不公平さを認識し、それに対処するために行動することについて、若い学習者と会話を始めるのに役立ちます。(2021年3月)

[BAAFNビデオ・カリキュラム・プロジェクト](#)

Covid-19のパンデミックでは、反中国、反アジアの人種差別がより頻繁に、そしてあからさまに見られるようになりました。学校では、遠隔地や個人的な場所で、いじめ、嫌がらせ、Zoom爆撃、人種差別発言、傷つくような「ジョーク」、さらには身体への攻撃などの形で行われます。このような行為やその背景にある感情は、アジア系やアジア系アメリカ人の生徒や教師、そして学校コミュニティ全体に長期的で有害な影響を与える可能性があります。

これは、コミュニティメンバー、BHS卒業生、在校生によってまとめられたプロジェクトです。BHSの9年生のアドバイザーで使用されました。(2021年1月)

[反アジアのレイシズムとの戦い](#)

修復的正義の実践からのテクニックを用いて、生徒を健全な議論に参加させる移民の歴史へのイニシアチブ ([the Immigrant History Initiative](#)) のレスンプランについて説明した記事です。(2020年11月)

[スミソニアン・アジア・パシフィック・アメリカン・センターインタビュー：リズ・クラインロック](#)

リズ・クラインロックは、カリフォルニア州ロサンゼルスを拠点とする反バイアス教育者・コンサルタントです。スミソニアンは、教室やコミュニティで反アジア人種差別に取り組むことや無視することが、生徒の学習にどのような影響を与えるかについて、彼女にインタビューしました。また、彼女はTEDトークで "How to teach kids to talk about taboo topics." と語っています。(2020年4月)

[Hollaback](#)とAsian Americans Advancing Justice (AAJC)は、アジア人に対する嫌がらせを目撃した傍観者と、憎悪に満ちた事件を経験したアジア人とアジア系アメリカ人を対象に、[それぞれ1時間のオンライン介入トレーニングを無料で提供しています](#)。参加者は、反アジア的な憎悪に対処するための一連のツールと戦略を身につけてトレーニングを終えることができます。